

内 科 学 (2)

教授 杉 本 恒 明
助教 水 村 泰 治
講師 浦 岡 忠 夫
講師 飯 田 博 行
助手 寺 田 康 人
助手 高 田 正 信
助手 余 川 茂 幸
助手 井 内 和 幸

◆ 著 書

1) 杉本恒明：循環器総論Ⅲ病態生理，140-163，図説臨床内科講座 第4巻 循環器(1)，山村雄一他編，メジカルビュー社，1980。

2) 杉本恒明：Ⅳ不整脈診断法の基礎的知識 5. 薬物負荷，142-148，循環器の臨床，榊原 仟他編，朝倉書店，1980。

3) 杉本恒明：A. 症状からみた救急プライマリケア26. 頻脈発作，107-111，救急プライマリケア・ハンドブック，本間日臣他編，克誠堂，1980。

4) 杉本恒明：洞不全症候群（Sick sinus 症候群，徐脈頻脈症候群），236-237，今日の治療指針，石山俊次他編，医学書院，1980。

5) 浦岡忠夫，杉本恒明：動悸と期外収縮，150-177，動悸，上田英雄他編，南江堂，1980。

6) 浦岡忠夫，杉本恒明：狭心症の治療，23-38，狭心症・心筋梗塞ハンドブック，戸嶋裕徳編，メジカルフレンド社，1980。

◆ 原 著

1) 杉本恒明，紺野謙介，石川忠夫，中瀬真一，渡部秀人，藤木 明，黒崎正夫：心筋梗塞前駆症状としての狭心症，臨床成人病 10(8)：1410-1412，1980。

2) 稲坂 暢，杉本恒明他17名：本邦で開発された新しいβ遮断剤 Bucumolol の不整脈に対する治療効果—Open study および Alprenolol を対照とする二重盲検試験による検討—，臨床と研究 57(4)：1264-1275，1980。

3) 秋山 真，杉本恒明，浦岡忠夫，寺田康人，井内和幸，西野 章，奥田治爾：潜在性 Atrio-His 束型副伝導路性頻拍と思われる1例，臨床心臓電気生理 3(2)：181-188，1980。

4) 杉本恒明，石川忠夫：いわゆる潜在性副伝導路症候群における発作性上室性頻拍の解析，臨床心臓電気生理 3(1)：31-38，1980。

5) 寺田康人：常圧および低圧灌流状態における

イヌ大腿動脈および冠動脈血管床に対するカテコラミンの効果，金沢大学十全医学大会誌 89(3)：422-432，1980。

6) 飯田博行，木田 寛，谷 吉雄，友杉直久，安部俊男，藤岡正彦，中本 安，服部 信：急性および慢性腎不全時における血中ガストリン代謝，最新医学 35(2)：380-385，1980。

7) 飯田博行，沢武紀雄，服部 信，倉知 圓，北川正信：脾静脈閉塞を伴った慢性脾炎の1例，胆と脾 12(1)：1659-1664，1980。

8) 高田正信，嶋尾正人，宇野伝治，荒井志郎，高島利一，野村岳而，服部 信：実験的腎血管性高血圧の血圧と血漿レニン活性に対する各種β-遮断薬の効果，日本腎臓学会誌 19(11)：921-928，1977。

9) 余川 茂，稲坂 暢，池田孝之，紺谷一浩，野村岳而：リウマチ性弁膜症診断上の胸部X線写真の左心耳拡大の意義，心臓 12(6)：624-629，1980。

10) 井内和幸，浦岡忠夫，神保正樹，秋山 真，余川 茂，寺田康人，杉本恒明，渡部秀人：左側 subclavian steal 現象を伴った右大動脈弓症候群の1例，心臓 12(12)：1458-1462，1980。

◆ 総 説

1) 杉本恒明：内科最近の動き—循環器，内科 45(1)：4-11，1980。

2) 杉本恒明：不整脈の薬物治療—ジギタリス剤，クリニカ 7(5)：347-352，1980。

3) 杉本恒明：心電図Q & A (13) 可逆性のP波の消失(1)(2)，日本医事新報 (2938)：79-82，1980。

4) 杉本恒明：発作性上室性頻拍—潜在性副伝導路症候群—臨床と研究 57(9)：2813-2818，1980。

5) 杉本恒明：不整脈の鑑別診断のための心臓ペーシング試験，循環器科 8(5)：327-336，1980。

6) 水村泰治：間質性腎炎，臨床と研究 57(2)：450-453，1980。

◆ そ の 他

1) 杉本恒明：ヒス束心電図，心臓カテテル検査法，朝日サイエンス社，II-1-12，1980。

2) 杉本恒明：低電位差，心電図診断より臨床診断へ 第192回最新医療ゼミナールテキスト，61-63，メディカル・コア，1980。

3) 杉本恒明：VI刺激伝導異常，心電図のよみ方 心臓病診断通信講座，メディカル・コア，1980。

4) 杉本恒明：I 学校心臓検診のしおり，富山県学校心臓腎臓検診要項，19-27，富山県学校保健会，1980。

5) 杉本恒明：ひと目でわかる心臓病(18)急性心筋梗塞，新薬と治療 30(10)，17-20，1980。

6) 杉本恒明：ひと目でわかる心臓病(19)陳旧性心筋梗塞，新薬と治療 30(1)19-22, 1980.

7) 杉本恒明：ひと目でわかる心臓病(20)非定型的心筋梗塞，新薬と治療 30(12)17-20, 1980.

8) 杉本恒明：狭心症の治療をめぐる，とやま県医報 (779) 3, 1980.

9) 杉本恒明：心室細動の発生と予防に関する研究 第2報 危険な心室期外収縮の性状，とやま県医報 (776)15-17, 1980.

10) 杉本恒明：難治性不整脈の機序と治療に関する臨床的研究，大和ヘルス財団助成研究業績集 第4集，88-94, 1980.

11) 神保正樹：虚血性心疾患について，庁報富山，7-9，富山地方家庭裁判所，1980.

◆ 学会報告

1) Sugimoto T., Ishikawa T. and Kaseno K.: Effects of shortening of cardiac cycle on electrophysiological properties of the atrium and the AV node in man. The 7th International Congress on Electrocadiology, Junê, 1980, Lisbon.

2) Takata M., Sugimoto T., Terada Y., Uraoka T. and Mizumura Y.: Bradykinin potentiation by angiotensin converting enzyme inhibitor, SQ 14225, in conscious rabbits with two kidney, one clip hypertension. The 8th European Congress of Cardiology, June 1980, Paris.

3) Terada Y. and Sugimoto T.: Effects of catecholamine on vascular bed under normal and low pressure perfusion: Studies on canine femoral and coronary arteries. The 8th European Congress of Cardiology, June 1980, Paris.

4) 浦岡忠夫，杉本恒明：WPW症候群における副伝導路の非観血部位診断に関する実験的検討，第44回日本循環器学会総会，1980. 3，東京.

5) 杉本恒明，浦岡忠夫，秋山 真：心室細動の要因としての心室期外収縮に関する実験的研究，第44回日本循環器学会総会，1980. 3，東京.

6) 水村泰治，松本三千夫，高田正信，飯田博行，杉本恒明：PGE₂の酸生成能および HCO₃⁻ 排泄に対する影響，第23回日本腎臓学会総会，1980. 11，東京.

7) 飯田博行，水村泰治，高田正信，杉本恒明：ラット BSA 腎炎における抗補体剤，K-76 COONa の影響，第23回日本腎臓学会総会，1980. 11，東京.

8) 高田正信，杉本恒明，松本三千夫，飯田博行，水村泰治：2腎性 Goldblatt 型高血圧イエウサギにおける SQ 14225 の降圧作用とブラディキニン増強

作用の関係，第3回日本高血圧学会総会，1980. 10，福岡.

9) 神保正樹，杉本恒明，寺田康人，石川忠夫：心不全における体肺循環系のうっ血の要因，第21回日本脈管学会総会，1980. 10，福岡.

10) 寺田康人，杉本恒明，神保正樹：冠動脈の反応性充血に対する交感神経刺激の影響，第21回日本脈管学会総会，1980. 10，福岡.

11) 浦岡忠夫，井内和幸，杉本恒明，野原哲夫：著明な ST・T 変化を示す交感神経失調症の1例，第105回日本内科学会北陸地方会，1980. 2，金沢.

12) 神保正樹，浦岡忠夫，寺田康人，余川 茂，井内和幸，秋山 真，杉本恒明，塩谷謙二：Sick Sinus Syndrome の1兄弟例，第107回日本内科学会北陸地方会，1980. 6，富山.

13) 飯田博行，高田正信，水村泰治，杉本恒明，藤木 宏：Rifampicin による急性腎不全の1例，第107回日本内科学会北陸地方会，1980. 6，富山.

14) 松本三千夫，高田正信，杉本恒明，藤田敏雄，藤巻雅夫，中田瑛浩，桐山誠一，中野 護：壊死性褐色細胞腫の1例，第34回北陸医学会総会，第108回日本内科学会北陸地方会，1980. 9，金沢.

15) 神保正樹，井内和幸，吉田繁樹，杉本恒明：肺低形成を伴った甲状腺性小人症の一例，第122回東海第109回北陸合同地方会，1980. 11，津.

16) 余川 茂，稲坂 暢，松沼恭一，松下重人，北村 隆，池田孝之：エタノールの心機能抑制に対する Coenzyme Q10 の効果についての実験的検討，第36回日本循環器学会地方会，1980. 2，金沢.

17) 井内和幸，浦岡忠夫，神保正樹，秋山 真，余川 茂，寺田康人，杉本恒明，渡部秀人：左側 subclavian steal 現象を伴った右側動脈弓の1例，同上.

18) 秋山 真，金木英輔，神保正樹，井内和幸，余川 茂，寺田康人，浦岡忠夫，杉本恒明，永井晃，上山武史，萩野 昇：超音波断層法にて診断しえた胡桃大の解離性大動脈瘤の1例，第37回日本循環器学会北陸地方会，1980. 7.

19) 吉田繁樹，松本三千夫，神保正樹，秋山 真，井内和幸，余川 茂，寺田康人，浦岡忠夫，杉本恒明：いわゆる孤立性肺動脈弁閉鎖不全における大動脈閉鎖不全の合併，第53回東海第38回北陸合同地方会，1980. 11，津.

20) 吉田耕司郎，金木英輔，神保正樹，秋山 真，井内和幸，余川 茂，寺田康人，浦岡忠夫，杉本恒明：左室憩室の1例，同上.

21) 渡部秀人，黒崎正夫，森本日出雄，真田 陽，

小川忠邦, 杉本恒明, 秋山 真: 著明な心筋肥大を伴った糖尿病Ⅲ型と思われる1例, 同上.

22) 水村泰治, 飯田博行, 高田正信, 杉本恒明, 木田 寛, 高桜英輔, 牧野 博: Mixed connective tissue disease (MCTD) の腎障害について, 第10回日腎西部学会, 1980. 6, 松山.

23) 飯田博行, 中本 安: 腎と肝—肝疾患に伴う糸球体病変について—, 同上, 1980. 6, 松山.

24) 神保正樹, 杉本恒明, 浦岡忠夫, 井内和幸, 秋山 真, 金木英輔: コントラストエコー法により検出される三尖弁閉鎖不全, 肺動脈弁閉鎖不全と血管径, 内圧諸値との関係, 第21回臨床心音図研究会, 1980. 9, 東京.

25) 西野 章, 杉本恒明, 浦岡忠夫, 寺田康人, 余川 茂, 井内和幸, 秋山 真, 神保正樹, 松本三千夫, 金木英輔, 吉田耕司郎, 甲州道子: 過呼吸負荷心電図試験, 第4回臨床生理研究会, 1980. 11, 名古屋.

26) 甲州道子, 井内和幸, 浦岡忠夫, 杉本恒明: 脈波による駆出時間測定における問題点, 第14回東海北陸循環ポリグラフィ研究会, 1980. 9, 名古屋.

27) 飯田博行, 水村泰治, 木田 寛: 急性腎不全における β_2 -microglobulin の検討, 第27回中部腎臓病談話会, 1955. 8, 名古屋.

28) 飯田博行, 浦岡忠夫, 水村泰治, 杉本恒明: 腸球菌による感染性心内膜炎に伴った膜性増殖性糸球体腎炎の1例, 第4回東海北陸糸球体腎炎談話会, 1955. 11, 名古屋.

内 科 学 (3)

教 授	佐々木	博
助 教 授	井 上	恭 一
講 師	田 中	三千雄
講 師	中 野	護
助 手	小 島	隆
助 手	市 田	隆 文
助 手	斎 藤	清 二
助 手	樋 口	清 博
文部技官	桑 原	芳 弘

◆ 著 書

1) 佐々木 博: 利胆剤 66~67, 「私の治療」大淵重敬, 阿部恒男監修 第2版, 日本医事新報社, 1980.

2) 佐々木 博: 肝膿瘍 497, 「私の治療」大淵

重敬, 阿部恒男監修, 第2版 日本医事新報社, 1980.

2) 佐々木 博, 市田文弘: II病態と治療, 肝内閉塞性黄疸(肝内胆汁うつ滞) 157~189, 「閉塞性黄疸—診療の実際」市田文弘編, 中外医学社, 1980.

4) 大井 至, 斎藤清二: I. 鑑別診断, 内視鏡的臍胆管造影法による診断 88~121, 「閉塞性黄疸—診療の実際」市田文弘編, 中外医学社, 1980.

5) 田中三千雄, 竹本忠良: 色素法からみた十二指腸潰瘍 121~130 「十二指腸潰瘍の診断と治療」竹本忠良編, 羊土社, 1980.

6) 小島 隆, 井上恭一, 佐々木 博, 石原 清, 市田文弘: ドリング剤による低 γ グロブリン血症を伴った慢性薬物起因性肝内胆汁うつ滞の1例 144~148 「薬物性肝障害」山本祐夫, 溝口靖紘編, 中外医学社, 1980.

7) 市田隆文, 本間 明, 永井茂雄, 市田文弘: セファロsporin系抗生剤の2剤に cross-sensitization を示した肝障害の1例 199~204, 「薬物性肝障害」山本祐夫, 溝口靖紘編, 中外医学社, 1980.

8) 竹本忠良, 丸山正隆, 田中三千雄編著: 図説十二指腸内視鏡検査, 南江堂, 1980.

9) 市田隆文, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木 博: 肝腫瘍性病変に対する腹腔鏡検査の有効性と限界(1) —特に血管造影と対比して—, 51~58, 肝腫瘍の腹腔鏡診断 島田宣浩, 原田 尚, 清永伍市, 矢野右人編, 医歯薬出版, 1980.

10) 川村 正, 柴山隆男, 渡辺俊明, 野本 実, 上村朝輝, 鈴木司郎, 市田文弘, 市田隆文, 井上恭一, 佐々木博: 肝腫瘍性病変に対する腹腔鏡検査の有効性と限界(2)—教室例73例の検討を中心として—, 59~66, 肝腫瘍の腹腔鏡診断, 島田宣浩, 原田 尚, 清永伍市, 矢野右人編, 医歯薬出版, 1980.

11) 佐々木 博: 胆汁うつ滞, 543~546, 「内科学」第2版, 上田英雄他編, 朝倉書店, 1980.

12) 佐々木 博: 亜急性肝炎・ルポイド肝炎・慢性肝炎, 566~570, 内科学, 第2版 上田英雄他編, 朝倉書店, 1980.

13) 井上恭一, 佐々木 博: 術後肝障害 薬剤による肝障害, 59~71, 外科 Mook No.16, 「外科と肝障害」佐藤寿雄編, 金原出版, 1980.

◆ 原 著

1) 田中三千雄, 藤倉信一郎, 斎藤清二, 佐々木 博, 堤 京子, 大森尚文, 丸山正隆, 大井 至, 鈴木 茂, 鈴木博孝, 竹本忠良: 十二指腸における粘液分泌型ポリープ, Gastroenterological Endoscopy 22: 247~261, 1980.